

## エア・リキードが重要な設備投資を通じて日本のエレクトロニクス分野でのプレゼンスを強化

このたびエア・リキードは、エレクトロニクス分野における主要なマーケット・リーダー2社と超高純度キャリアガスの長期供給契約を締結しました。今回の契約の履行に向け、エア・リキードは段階的に総額約3億ユーロを投じて4つの最新鋭のガスプラントを建設し、毎年15億Nm<sup>3</sup>を超える窒素や高純度ガスを生産する予定です。

お客様による先進的な半導体の戦略的な生産拡大をサポートするため、エア・リキードは国内に超高純度産業ガスプラントを建設・所有・運営します。新たに建設される4つの省エネ製造設備では、従来型の設備に比べ、年間で推定35,000トンの二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出を削減できるとみられます。これは、国内11,000軒の家屋で排出される二酸化炭素の合計トンに相当します。最初の製造設備は2022年の末頃を目処に稼働開始予定です。

エア・リキードはこの2社のお客さまに対し、20年以上にわたって超高純度産業ガスを供給してまいりました。今回の新しい生産施設により、エア・リキードは日本における主導的地位を強化し、グループのエレクトロニクス事業の成長の勢いを後押しします。

エア・リキードグループのExecutive Committeeメンバーで、アジア太平洋地域を統括するFrançois Abrialは、次のように述べています。

「長期的なパートナーであるこのお客さまと協力関係を強化できることを喜ばしく思っています。このたびの契約はまさに半導体産業のため、また当社の設備への投資を推進するという戦略に沿ったものです。これらの契約はエア・リキードが信頼性が高く、電力効率に優れた超高純度産業ガス製造ソリューションをお客さまに提供できることを物語っています。また、お客さまの二酸化炭素排出量削減も支援するなど、当社の持続可能性の目標にも即しています」

### 日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード株式会社（ALJ）は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。

### エア・リキードのエレクトロニクス事業

エア・リキードのエレクトロニクス事業部門は、2021年に20億9600万ユーロの収益を上げ、この業界向けの超高純度ガスや先端材料の設計・製造・供給において世界をリードしています。エア・リキードのエレクトロニクス事業部門は、半導体、太陽光発電、フラットパネルディスプレイ市場に革新的で持続可能なソリューションを提供する長期的なパートナーです。世界中で約4,500人の従業員が、お客様のニーズに迅速かつ信頼性を持ってお応えするよう、日々努めています。www.electronics-airliquide.com

### 連絡先

パリ Corporate Communications  
media@airliquide.com

Investor Relations  
IRTeam@airliquide.com

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界75カ国で約66,400人の従業員を擁し、380万以上のお客さまと患者の皆様にごサービスを提供しています。酸素、窒素、そして水素は、生命、物質、エネルギーに欠かせない必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の中心活動の核となってきました。

エア・リキードのアンビションは、気候変動とエネルギー転換への力強いコミットメントが中心となる戦略でガス産業をリードし、長期的パフォーマンスを維持し、持続可能性に寄与することです。お客様を中心に据えた変革を戦略として実行し、長期にわたる利益ある、統制の取れた、責任ある成長をめざします。卓越したオペレーション、選択的な投資、オープンイノベーション、全世界にまたがるグループのネットワーク組織によりこれを達成します。社員のコミットメントとイノベーションにより、エネルギーと環境の転換、ヘルスクアの進展、デジタル変革を捉え、全てのステークホルダーにより大きな価値をもたらします。

2021年の売上高は230億ユーロ強です。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40、CAC40 ESG、EURO STOXX 50指数およびFTSE4Good Indexの構成銘柄です。